

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公開番号】特開2018-19827(P2018-19827A)

【公開日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-005

【出願番号】特願2016-151896(P2016-151896)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	5 1 2 D
A 6 3 F	5/04	5 1 6 F
A 6 3 F	5/04	5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月31日(2019.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体の払出数、および役物の作動中の遊技媒体の払出数である役物払出数のそれについて予め定められた基準集計期間における累計を記憶する第1払出数記憶手段と、

前記払出数および前記役物払出数のそれについて前記基準集計期間ごとの累計を複数の前記基準集計期間分個別に記憶する第2払出数記憶手段と、

前記払出数および前記役物払出数のそれについて前記複数の基準集計期間に相当する所定集計期間における累計を記憶する第3払出数記憶手段と、

前記第3払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の累計および前記役物払出数の累計に基づいて役物比率を算出する比率算出手段と、

表示装置の表示を制御する表示制御手段とを備え、

前記比率算出手段が、

前記基準集計期間が経過する毎に、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計および前記基準集計期間における前記役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に記憶させ、前記所定集計期間が経過した以降は、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に最先に記憶された前記基準集計期間における前記払出数の累計に上書きして記憶させるとともに、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に最先に記憶された前記基準集計期間における前記役物払出数の累計に上書きして記憶させ、

前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計および前記基準集計期間における前記役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に記憶させると、前記第2払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の総和を算出して前記第3払出数記憶手段に記憶させることによって前記払出数の累計を更新するとともに、前記第2払出数記憶手段に記憶されている前記役物払出数の総和を算出して前記第3払出数記憶手段に記憶させることによって前記役物払出数の累計を更新し、

前記基準集計期間が経過する毎に、前記第3払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の累計および前記役物払出数の累計を更新してから前記役物比率を算出し、

前記表示制御手段が、

前記比率算出手段によって算出された前記役物比率の数値を前記表示装置に表示させることを特徴とする遊技機。

#### 【請求項 2】

遊技媒体の払出数、および第一種特別役物の作動中の遊技媒体の払出数である連続役物払出数のそれについて予め定められた基準集計期間における累計を記憶する第1払出数記憶手段と、

前記払出数および前記連続役物払出数のそれぞれについて前記基準集計期間ごとの累計を複数の前記基準集計期間分個別に記憶する第2払出数記憶手段と、

前記払出数および前記連続役物払出数のそれぞれについて前記複数の基準集計期間に相当する所定集計期間における累計を記憶する第3払出数記憶手段と、

前記第3払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の累計および前記連続役物払出数の累計に基づいて連続役物比率を算出する比率算出手段と、

表示装置の表示を制御する表示制御手段とを備え、

前記比率算出手段が、

前記基準集計期間が経過する毎に、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計および前記基準集計期間における前記連続役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に記憶させ、前記所定集計期間が経過した以降は、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に最先に記憶された前記基準集計期間における前記払出数の累計に上書きして記憶させるとともに、前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記連続役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に最先に記憶された前記基準集計期間における前記連続役物払出数の累計に上書きして記憶させ、

前記第1払出数記憶手段に記憶されている前記基準集計期間における前記払出数の累計および前記基準集計期間における前記連続役物払出数の累計を前記第2払出数記憶手段に記憶させると、前記第2払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の総和を算出して前記第3払出数記憶手段に記憶させることによって前記払出数の累計を更新するとともに、前記第2払出数記憶手段に記憶されている前記連続役物払出数の総和を算出して前記第3払出数記憶手段に記憶させることによって前記連続役物払出数の累計を更新し、

前記基準集計期間が経過する毎に、前記第3払出数記憶手段に記憶されている前記払出数の累計および前記連続役物払出数の累計を更新してから前記連続役物比率を算出し、

前記表示制御手段が、

前記比率算出手段によって算出された前記連続役物比率の数値を前記表示装置に表示させることを特徴とする遊技機。

#### 【請求項 3】

特別演出状態を含む複数種類の演出状態の間で演出状態を移行させ、前記特別演出状態では予め定められた特別演出状態の終了条件が成立した場合に当該特別演出状態を終了させる特別演出状態制御手段と、

通常区間と有利区間とを含む複数種類の遊技区間の間で遊技区間を移行させ、前記有利区間ににおいてクリアカウンタを更新して前記クリアカウンタの記憶値に基づいて前記有利区間を終了させて演出状態を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、

総遊技回数を記憶する総遊技回数記憶手段と、

前記有利区間の遊技回数の総数を記憶する有利区間遊技回数記憶手段と、

前記総遊技回数記憶手段に記憶されている前記総遊技回数および前記有利区間遊技回数記憶手段に記憶されている前記有利区間の遊技回数の総数に基づいて、前記総遊技回数に対する前記有利区間の遊技回数の総数の比率である有利区間滞在比率を算出する比率算出手段と、

表示装置の表示を制御する表示制御手段とを備え、

前記特別演出状態制御手段が、

前記有利区間ににおいて演出状態を前記特別演出状態に滞在させる場合が存在し、

前記初期化手段が、

前記通常区間において遊技区間を前記有利区間に移行させることが決定されたことに基づいて遊技区間を前記有利区間に移行させ、前記有利区間の終了時において演出状態が前記特別演出状態である場合には前記特別演出状態の終了条件が成立していなくても前記初期化処理を行って当該特別演出状態を終了させ、

前記比率算出手段が、

1回の遊技が行われる毎に前記総遊技回数記憶手段に記憶されている前記総遊技回数を更新し、前記有利区間において1回の遊技が行われる毎に前記有利区間遊技回数記憶手段に記憶されている前記有利区間の遊技回数の総数を更新する更新処理を行い、

1回の遊技が行われる毎に、前記総遊技回数を更新するとともに前記有利区間である場合に前記有利区間の遊技回数の総数を更新する前記更新処理を行ってから前記有利区間滞在比率を算出し、

前記表示制御手段が、

前記比率算出手段によって算出された前記有利区間滞在比率の数値を前記表示装置に表示させることを特徴とする遊技機。